

令和2年度事業報告書

樞原美容専門学校は、「自主と責任」を校訓に、全国でも珍しい「組合立」の学校として、「県内で育て、県内で働く」ための職業(美容)教育に努め53年の歴史を歩んできました。

2020年は、新型コロナウイルスが世界中で猛威を振るい、日本では緊急事態宣言が発令され、生徒に不安と恐怖をもたらしました。今現在もこの先の見えない不安の中、ソーシャル・ディスタンスや検温、マスクの徹底など感染から身を守る行為が続いています。

生徒たちの笑顔と元気な声が時間とともに消えていく現状に、悲しみと無力さに気付いた年でもありました。

本校は、長期戦略として「昼間課程・通信課程・高等学校連携事業・委託訓練事業」の4つの教育事業を展開しています。昼間課程では、2年前に参入した「長期訓練事業(奈良県職業訓練)」では大きな成果が実り、訓練生の全員が国家試験に合格し、卒業式を迎えることができました。また、新入生も定員数10名を超える応募を頂き、安定的に質の高い訓練事業が実施できる体制と環境が整備されました。

また、「通信課程」では、従来の美容サロンでの従事者に加え、他業種からの美容業界を目指す学生が増加したことにより、安心して学べる環境整備を進め、既存のカリキュラムから多様性に優れたハイブリッド型システムが構築されました。さらに、OJTやOFF-JTなど企業様との連携事業も新たに誕生し、年齢や職業を問わない資格取得教育への新たな可能性が受け入れられ、入校希望者が増加しています。

さらに、高等学校連携事業では、奈良県立二階堂高等学校・三重県立あけぼの学園高等学校とのダブルスクール制度が、時代が求める早期職業観育成の状況下に結合し、大きな期待が高まっています。今年度も組合員様の美容室に、全生徒が就職するなど組合立としての成果を残すことができました。

そして、委託訓練事業では、奈良県委託訓練の1コース、求職者訓練での2コースが開講できない状況となり、入校者も大幅に減少を致しましたが、就職率は、安定的に高く、関連資格(民間資格)も100%の合格率を維持し、各方面より素晴らしい評価を頂きました。また、新型コロナウイルス感染状況での遠隔授業に備えた取り組み、そして、ユーチューブでのライブ授業の配信など、新たな事業展開の準備が整った年でもありました。

最後に、全国に約二百六十校ある美容師養成施設のうち、本校は「組合立」としての伝統と歴史を守り、高い技能教育を実施しています。今後も「組合立」としての役割と責任を全教職員が自覚し、設立者である組合員の皆様方と連携を図り、将来の美容業を担う美容師の育成、そして「樞美」の愛称と伝統を守れるよう努力を重ねたいと思いますので、引き続きご指導を賜りますようお願い申し上げます。